

# 超音波検査

CT・MRで見ることのできない内部まで

超音波検査は、人が聴くことができない高い周波数の音波を物質にあてて、反射した情報を画像にします。超音波を英語でecho(エコー)というので、エコー検査とも言います。体への害や痛みがないため、検査を繰り返し行うことができます。

当院では、腹部・甲状腺・乳腺・頸動脈・下肢血管・体表面などの検査を中心に行っております。



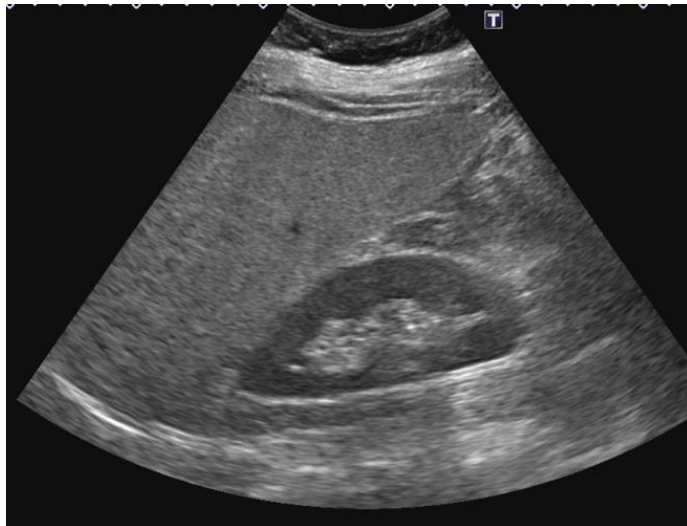
## 腹部超音波検査

腹部超音波検査は、肝臓・胆嚢・脾臓・膵臓・腎臓などの形態を中心に観ていきます。

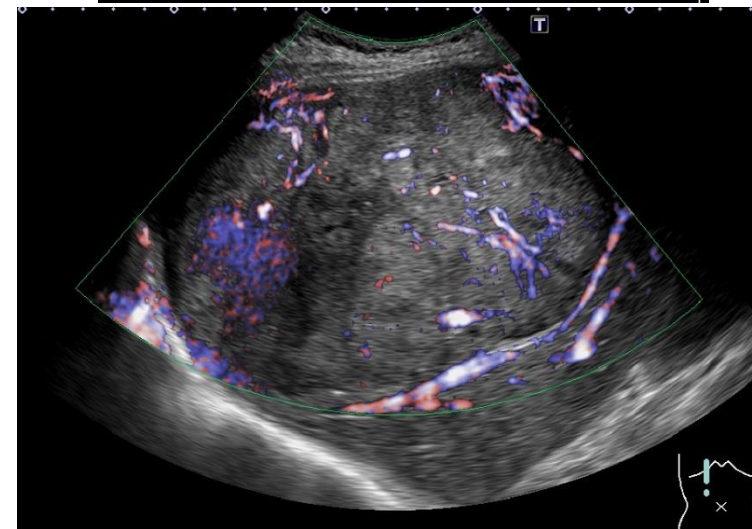
肝臓は内部の性状（不均質化など）、がん、その他の腫瘍を観ます。肝硬変、脂肪肝による疾患も観ることができます。



肝硬変



脂肪肝



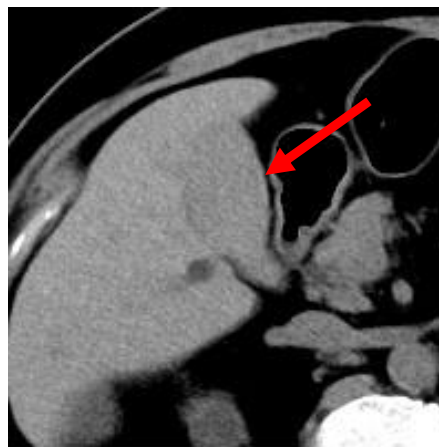
肝臓がん

## 腹部超音波検査（胆嚢）

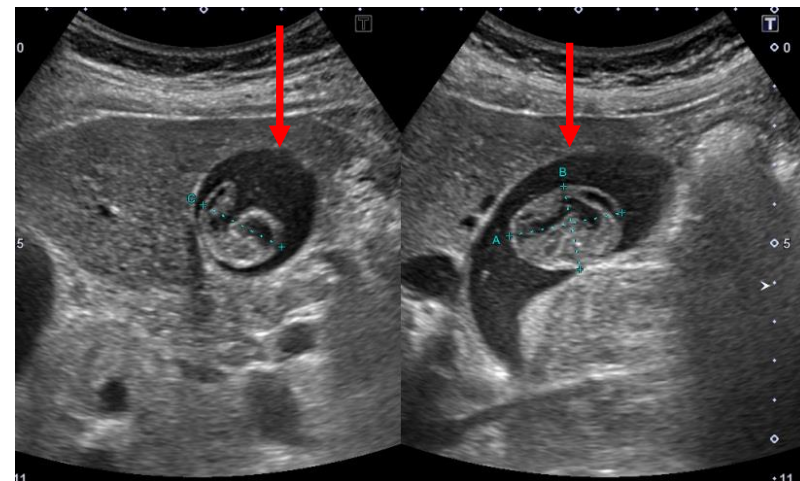
胆嚢はナスビのような器官で、肝臓の下面に付着しています。

胆嚢内部には消化酵素を貯蔵します。食事などにより排出され、縮小します。それゆえ検査前は食事禁止となります。内部の観察はCT・MRIよりも優れています。

- 胆嚢結石
- 胆嚢ポリープ
- 胆嚢がんなど



CT画像



超音波画像（結石）



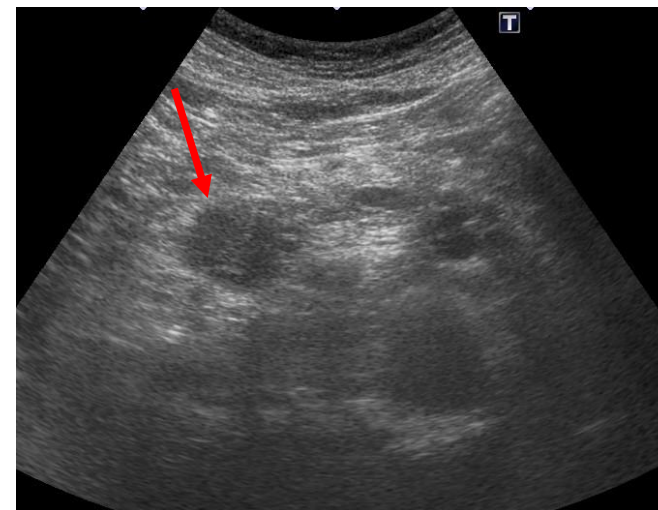
胆嚢がん

## 膵臓

膵臓は胃の後ろに位置する細長い（15cm）の消化腺です。蛋白・炭水化物・脂肪を分解する消化酵素を含む膵液を分泌します。

超音波は空気・ガスなどがあると臓器を観ることができなくなってしまう、胃・腸管のガスにより描出が非常に観にくくなってしまう臓器です。

膵がん



超音波  
画像



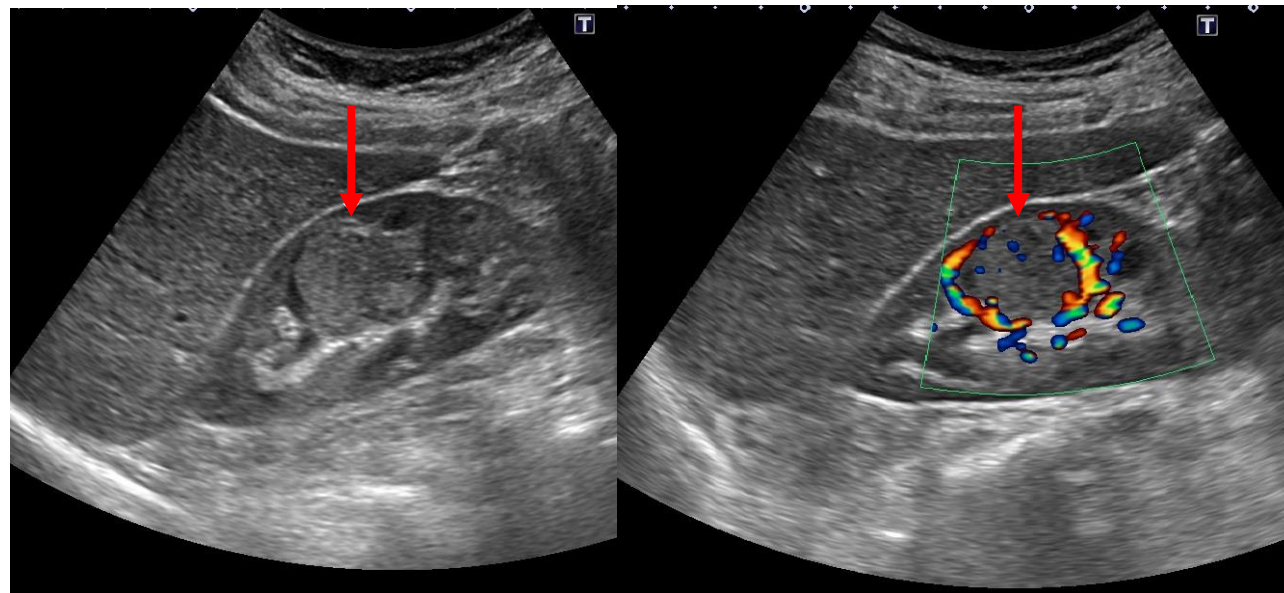
CT画像

## 腎臓

腎臓は、一對のインゲン豆の様な形の器官で脊椎の両側に位置し尿を作り出しています。

後腹膜腔にあるため超音波検査では背側から当てて観るかたちになります。

- 腎嚢胞
- 腎結石
- 腎血管筋脂肪腫
- 腎がんなど



腎がん

超音波画像  
(ドックにて発見)

CT画像

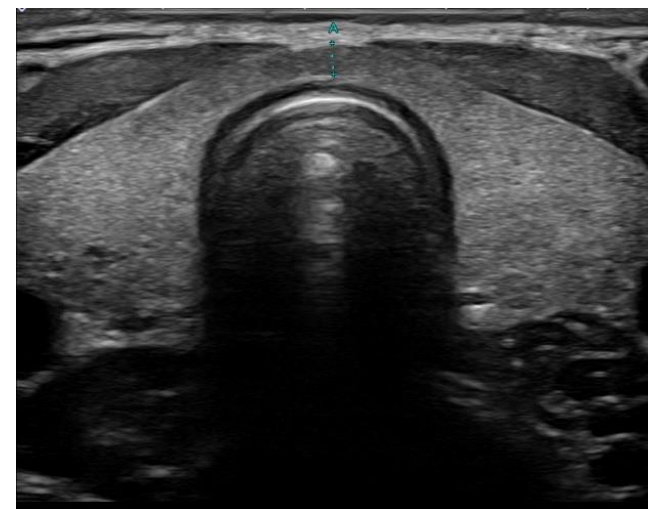


# 甲状腺

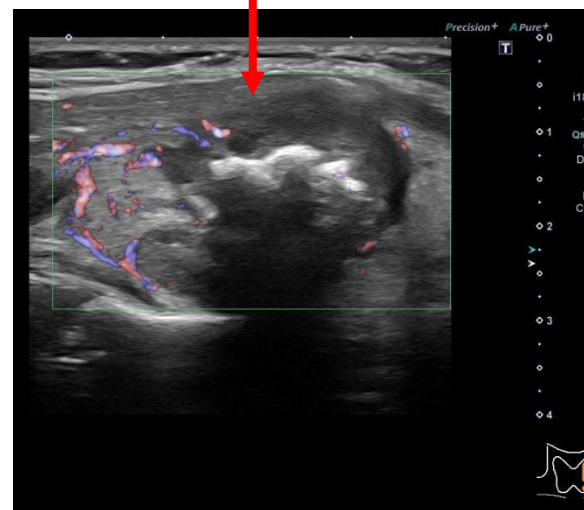
甲状腺は頸の真ん中、喉仏にあり、器官に沿って蝶が羽を広げたような形で位置しています。ホルモンを分泌して体の新陳代謝を調節する重要な器官です。

- バセドウ病
- 橋本病
- 甲状腺腺腫
- 甲状腺がんなど

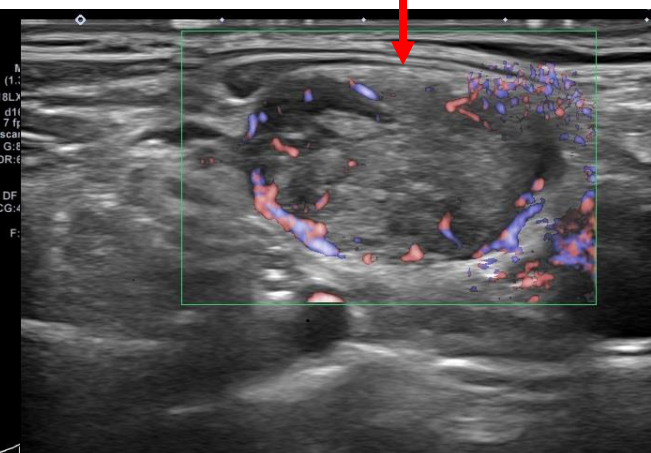
甲状腺  
正常



甲状腺  
がん



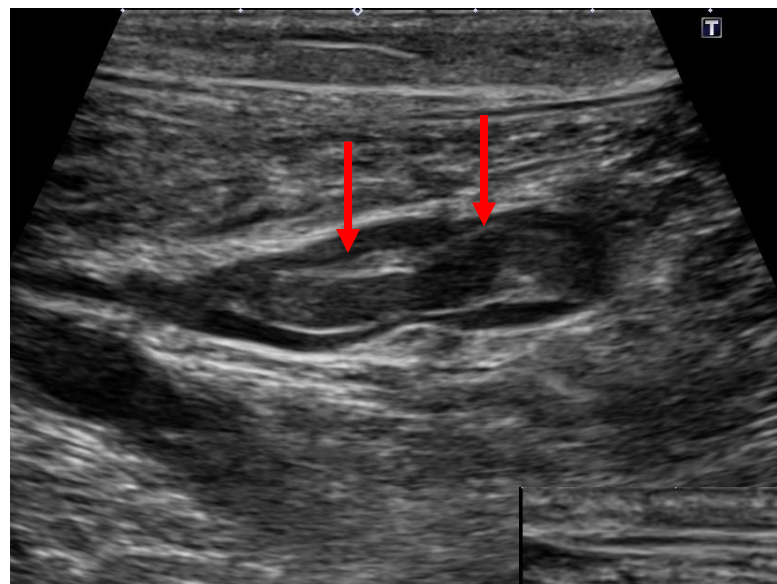
甲状腺がん転移



## 下肢静脈血栓症

下肢静脈血栓症は、下肢の深部静脈に血栓ができて詰まる病気です。

足や下半身などにできた血栓が血流に乗って肺の血管に詰まり胸の痛み・呼吸困難・循環不全を起こす場合もあります。俗にエコノミー症候群とも言われます。



下肢静脈血栓症

